

## 在宅医療・介護施設で働く看護職員の支援事業 (石川県補助事業)

担当：宮本

### I. 研修会の実施

#### 1. 目的

在宅医療・介護施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等）で働く看護職員を対象にし、能力向上のための知識、技術等の取得のための研修会を実施する。

#### 2. 研修会開催

##### 1) 高齢者における皮膚ケア

- ① 日時：令和6年10月17日（木） 13時30分～14時30分
- ② 講師：小松市民病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 小町 茉亜莉
- ③ 研修テーマ：在宅・高齢者施設における皮膚に多いトラブルのケア
- ④ 研修会場：オンライン
- ⑤ 研修参加者：40名

##### 2) 高齢者における皮膚ケア

- ① 日時：令和6年11月14日（木） 13時30分～14時30分
- ② 講師：やわたメディカルセンター感染管理認定看護師 根上 剛
- ③ 研修テーマ：在宅・高齢者施設における感染対策の基本について
- ④ 研修会場：オンライン
- ⑤ 研修参加者：30名

### II. 施設への講師派遣

#### 1. 目的

専門的技術研修等を地域のニーズや施設の実情に応じて身近な場所で実施することで、在宅医療・介護施設等で働く看護職員の看護実践能力を強化する。

#### 2. 対象

石川県内の在宅医療・介護施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等）で、講師派遣を受入れることによって、モデル施設として近隣施設への看護ケアの向上の波及効果が期待できる施設。

### 3. 運営

#### 1) 講師派遣受入施設

	施設区分	施設名	地域
1	訪問看護事業所	愛の風訪問看護ステーション	金沢第一
2	訪問看護事業所	サンウェルズ金沢訪問看護ステーション	金沢第二
3	訪問看護事業所	こすもす訪問看護ステーション金沢	金沢第二
4	看護小規模多機能型居宅介護	かほくの郷	金沢第二
5	特別養護老人ホーム	ボニジュール 根上苑	南加賀

#### 2) 講師

	講師（認定看護師）	施設名	認定分野
1	平元 まどか	あっとほーむな訪問看護ステーションやまと	訪問看護
2	尾西 恵理	金沢医療センター	皮膚・排泄ケア
3	音 美千子	金沢大学附属病院	小児看護
4	久保田 陽子	JCHO 金沢病院	皮膚・排泄ケア
5	谷口 博紀	やわたメディカルセンター	摂食嚥下障害看護

#### 3) 検討委員

	氏名	施設名	施設区分
1	坂本 幸恵	金沢市地域包括支援センターとびうめ	地域包括支援センター
2	松田 知子	介護老人保健施設 あんじん	介護老人保健施設
3	向田 浩子	南ヶ丘訪問看護ステーション	訪問看護事業所
4	山田 志保	看護小規模多機能型居宅介護支援事業所 こすもすの家	看護小規模多機能型居宅介護
5	山越 亜由美	石川県医療在宅ケア事業団	訪問看護事業所

### 4. 実施

- ・事業参加施設は、年間3回、講師を受入れ、自施設の問題解決に取り組む。
- ・第2回の研修は、自施設のグループ内の職員を対象に（一部オンラインで地域の事業所参加）、講義及び実技を取り入れて行った。

#### 1) 参加施設が取り組む課題

	施設区分	施設名	課題
1	訪問看護ステーション	愛の風訪問看護ステーション	訪問看護の基礎
2	訪問看護ステーション	サンウェルズ金沢訪問看護ステーション	皮膚ケア

3	訪問看護ステーション	こすもす訪問看護ステーション金沢	小児看護
4	看護多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護かほくの郷	皮膚ケア
5	特別養護老人ホーム	ボニユール根上苑	とろみ調整 口腔ケア

## 2) 研修会開催

施設名	第1回	第2回	第3回
愛の風訪問看護ステーション	9月18日 (水)	10月23日 (水)	12月11日 (水)
サンウェルズ金沢訪問看護ステーション	9月30日 (月)	11月12日 (火)	1月14日 (火)
こすもす訪問看護ステーション金沢	9月6日 (金)	10月25日 (金)	12月13日 (金)
看護小規模多機能型居宅介護かほくの郷	9月12日 (木)	10月16日 (水)	11月28日 (木)
ボニユール根上苑	9月25日 (水)	11月5日 (火)	1月21日 (火)

## 3) 研修テーマ

施設区分	研修テーマ
愛の風訪問看護ステーション	はじめまして！ 訪問看護です
サンウェルズ金沢訪問看護ステーション	スキンケアの予防と管理
こすもす訪問看護ステーション金沢	医療的ケア児の気管切開・経鼻胃管ケアのポイント
看護小規模多機能型居宅介護かほくの郷	利用者のできる力を見出し、皮膚障害を予防しよう
ボニユール根上苑	嚥下機能評価とポジショニング

## 4) 成果（施設の所感）

- ・OJT シートを用いることにより自身の強み・弱みを知ることができた。管理者に意見を言うこともでき、みんなで話し合っ業務改善ができるようになっていくと思う。
- ・介入後に、利用者の皮膚糜爛が24件から3件に減少しており、数値で見える化している。介護士と一緒にケアの予防を考えており、1日2回保湿しようと前向きに行動している。
- ・模型を用いて実際に経鼻チューブの挿入を行うことなどで、自信が持てた。
- ・陰部洗浄について、パンフレットを作成してケアの必要性を家族に伝えた。介護職にもケアの統一としてマニュアル作成をしており、介護職と協働することが増えてくると思う。
- ・講師が困難事例に対してアドバイスしたことを、看護師が実践に取り入れて、次の訪問時には嚥下障害が改善していた。姿勢や水飲みテスト、頸部聴診など講義で伝えたことが活かされていた。